

平成 21 年 5 月 8 日現在

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2006-2008

課題番号：18592278

研究課題名（和文）

社会資本の適正利用を目的とした地域の障害者歯科ニーズの把握と治療効果に関する研究

研究課題名（英文）

Study on the Dental Needs of Patients with Disabilities in the Area and the Effect of Dental Treatment

研究代表者

森 貴幸 (MORI TAKAYUKI)

岡山大学・医学部・歯学部附属病院・助教

研究者番号：90274000

研究成果の概要：

地域の障害者の歯科疾患に関する横断調査、障害者（関係者）、歯科医療者へのアンケート調査および治療効果の精査（回顧調査）を行い、以下の結論を得た。

- (1) 35 歳より高い年齢層において、歯科疾患が深刻である。
- (2) 歯科疾患においては予防管理が効果的で、特に歯周疾患の対策が必要である。
- (3) 通院に関する負担感が強い為、障害者専門歯科医療機関と一般歯科医療機関が連携して、患者のアクセスビリティを向上させる必要がある。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	1,500,000	0	1,500,000
2007 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2008 年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	570,000	3,970,000

研究分野：障害者歯科学

科研費の分科・細目：社会系歯学

キーワード：障害者、歯科疾患、歯科医療に対する意識、一般歯科診療所における障害者の受け入れ、障害者歯科における治療効果、障害者歯科における予防効果

1. 研究開始当初の背景

歯科治療に適応することが困難な障害者に対応する歯科医療機関は、設備あるいはスタッフの経験などの問題から限定されているのが現状である。したがって、地域の障害者に適切な歯科治療を行うためには、障害者専門歯科医療機関および一般歯科医療機関が、それぞれの機能および所在地に応じて、役割を分担し、効率的な医療を行うために相互に補完しあうネットワーク構築が望まれる。しかし本研究の企画当初は、岡山県内における障

害者の歯科疾患の実態は明らかとは言えず、患者側の歯科医療に関する意識、歯科医療者側の障害者受け入れに関する意識も明らかではなかった。また障害者歯科における治療効果の検討もなされておらず、ネットワーク構築のための基礎資料は、われわれが渉猟した範囲では、認められなかった。

2. 研究の目的

本研究は、限られた社会資本である地域の障害者専門歯科医療機関、障害者受け入れ可能な一般歯科診療所を効率

的に活用するシステムおよびネットワークを構築するための資料収集を目的とした。

そのために必要な情報の蓄積と解析として、(1)地域の障害者の歯科需要、(2)地域の歯科医療機関の障害者に提供可能なマンパワーと時間、以上2点の現状把握と将来の予測、(3)障害者歯科専門歯科医療機関の診療実績の精査による、障害者の口腔の健康維持・増進に必要な治療・口腔衛生活動の内容および提供量に関する evidence の作成、以上計3点に関する研究を行った。

3. 研究の方法

- (1) 地域内の障害者の歯科疾患の実態を把握するため、岡山県内の障害者歯科医療機関、障害者施設において540例の歯科検診を行い、齲蝕歯、処置歯および喪失歯の実態について解析を行った。また歯科ニーズを患者側の意識から質的に検討するため、地域の障害者（関係者）を対象として、歯科医療への意識に関する匿名アンケート調査を行い、240例の回答を得た。
- (2) 歯科医療に関する提供側の意識について調査するため、地域内の歯科医師を対象として、障害者歯科医療との関わりおよび障害者の受け入れ基準に関するアンケート調査を行い、68例の回答を得た。
- (3) 障害者歯科治療の治療効果および予防効果の評価を行うため、岡山大学医学部・歯学部附属病院の治療記録を精査（回顧調査）し、「障害者歯科診療の実態」、「障害者における歯冠修復物の保持期間」および「障害者歯科の長期管理患者における歯の喪失の実態と喪失に関連した要因」に関する解析を行った。

4. 研究成果

上記の調査により以下の所見を得た。

- (1)
 - ① 障害者の齲蝕発生率は、各年齢層を通じて、健常者とほぼ同等であったが、障害者の喪失歯数に関しては、35歳より高い年齢層で、健常者よりも顕著に多い傾向にあった。35歳以下の年齢層の障害者は、成長期に障害者専門歯科医療機関の開設、養護学校義務教育化などの影響で、歯科の受診機会が増えたために若年時における歯の喪失が少なかったと考えられた。
 - ② 患者側は歯科の通院が、遠距離になりがちなことに負担を感じており、障害者歯科専門医療機関の増設、および一般歯科医療機関の障害者受け入れ拡大による通院負担の軽減を望んでいた。また歯科医療者の障害に関する理解向上、障害者歯科医療に関する情報提供の改善について希望する者も多かった。
- (2) 一般歯科医院開設者において、コミュニケー

ションおよび行動上の問題が少ない障害者に関しては、引き受けたいとする者が多かった。また写真や絵を利用した視覚支援などの行動調整が必要な患者についても、半数程度の歯科医療者が受け入れに意欲を示していた。

(3)

- ① 障害者の歯冠修復に関しては、メタルインレーであれば、健常者とほぼ同等の保持期間であった。FCKでは、健常者よりも保持期間が短い傾向にあった。
- ② 岡山大学病院特殊歯科に受診歴がある障害者の数は、岡山県内の障害者手帳および療育手帳所持者の数の5%程度であった。また通院している障害者は、岡山県南部に偏っていた。
- ③ 歯科疾患の予防管理を行うことによって、歯の喪失は、顕著に減少したと思われた。また予防管理は、空白期間を作らず継続することによって、より効果が上がっていた。

上記の調査および解析により、以下の結論を得た。

- (1) 障害者は、歯科医療を十分に受けられないために歯を早期に喪失している例が多い。
- (2) 継続的な予防管理を行うことによって長期間、歯の喪失を防止できることが明らかになった。また、歯冠修復物についても、健常者とほぼ変わらない保持期間を有しており、歯科受診を継続することにより、障害者が口腔の健康を一生にわたって維持する可能性は、高まると思われる。
- (3) 患者側は、通院時間および距離について負担を感じており、出来るだけ近距離で受診できるよう、障害者歯科専門歯科医療機関の増設、あるいは一般歯科における障害者受け入れ拡大を望んでいた。
- (4) 大部分の一般歯科医療機関が、障害者受け入れに積極的であった。行動管理が必要な患者についても約半数の歯科医療機関は、視覚支援などの行動調整を行うことに意欲を持っていた。
- (5) 本調査により、障害者は、健常者以上に予防管理が重要であることが再確認された。特別支援学校は義務教育であるので、在学中は学校検診が有り、歯科受診の機会が多い。学校卒業後に歯科受診が途切れないよう、患者に歯科医療機関に関する情報を提供し続ける必要がある。また、歯科医療機関は協力して、患者が最少の負担で最適の治療を受けられる体制を作る必要がある。そのために本研究結果を基礎資料とし

て、岡山県内における障害者歯科に関する地域連携クリニック・バスが計画され、現在作成中である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

1. 森 貴幸, 江草正彦, 沼本庸子, 有岡享子, 北 ふみ, 今井美香子, 梶原京子, 花野響子, 森田幸介, 石田 瞭, 宮脇卓也, 緒方克也; 障害者歯科の長期メンテナンス患者における歯の喪失状況および喪失に関連した要因. 障害者歯科, 査読有, 29(4), 600-610, 2008.
2. 森 貴幸, 有岡享子, 森田幸介, 石原牧子, 北 ふみ, 梶原京子, 花野響子, 石田 瞭, 江草正彦, 緒方克也; 歯科疾患実態調査のパーセンタイル値を利用した障害者の現在歯数に関する研究. 障害者歯科, 査読有, 29(1), 22-32, 2008.
3. 森 貴幸, 有岡享子, 森田幸介, 石原牧子, 北 ふみ, 石田 瞭, 江草正彦, 宮脇卓也, 吉山昌宏; 岡山大学病院特殊歯科総合治療部における開設以来23年間の障害者歯科診療の実態調査 -当科の現状と地域の障害者歯科医療-. 岡山歯学会雑誌, 査読有, 26(2), 87-95, 2007.
4. Takayuki Mori, Noriaki Takeda, Kosuke Morita, Fumi Kita, Kyoko Kajiwara, Kyoko Arioka, Ryo Ishida and Masahiko Egusa; Study on the Longevity of Dental Restorations in Patients with Disabilities. Dentistry in Japan, 査読有, Vol. 43, 162-165, 2007.

[学会発表] (計15件)

1. 森 貴幸; 障害者歯科にて10年以上の疾患予防を行った患者における歯の喪失状況. 第19回日本疫学会, 平成21年1月24日, 石川県金沢
2. MORI Takayuki, EGUSA Masahiko, ARIOKA Kyoko, NUMOTO Youko, MORITA Kosuke, KAJIWARA Kyoko, KITA Fumi, HANANO Kyoko, MIYAWAKI Takuya, OGATA Katsuya; Evaluation of the Number of Remaining Teeth in Patients with Disabilities Using Percentile Palameter. 第19回国際障害者歯科学会 2008年10月29, 30日, ブラジル, サントス市
3. 沼本庸子, 森 貴幸, 江草正彦, 北 ふみ, 有岡享子, 今井美香子, 森田幸介, 石田 瞭, 緒方克也, 宮脇卓也; 地域の障害者が歯科に対して望むこと アンケートによる歯科ニーズの調査. 第25回日本障害者歯科学会, 平成20年10月11日, 東京都品川区.
4. 有岡享子, 石田 瞭, 今井美香子, 沼本庸子, 森 貴幸, 北 ふみ, 森田幸介, 大久保真衣, 緒方克也, 江草正彦, 宮脇卓也; 摂食・嚥下リハビリテーションにおける地域連携について. 第25回日本障害者歯科学会, 平成20年10月11日, 東京都品川区.
5. 森 貴幸, 江草正彦, 沼本庸子, 有岡享子, 北 ふみ, 今井美香子, 船曳洋司, 梶原京子, 森田幸介, 花野響子, 石田 瞭, 宮脇卓也; 地域の障害者の現在歯数について -パーセンタイル曲線を利用した厚労省調査との比較-. 第25回日本障害者歯科学会, 平成20年10月11日, 東京都品川区.
6. 石田 瞭, 大久保真衣, 有岡享子, 今井美香子, 沼本庸子, 森 貴幸, 森田幸介, 江草正彦; 摂食・嚥下リハビリテーション部門開設5年間の臨床統計. 第25回日本障害者歯科学会, 平成20年10月11日, 東京都品川区.
7. 北 ふみ, 江草正彦, 森 貴幸, 沼本庸子, 有岡享子, 今井美香子, 石原牧子, 緒方克也, 宮脇卓也; 当院障害者歯科治療部門から地域歯科医院に紹介した患者についての調査. 第25回日本障害者歯科学会, 平成20年10月10日, 東京都品川区.
8. 石原牧子, 森 貴幸, 有岡享子, 森田幸介, 北 ふみ, 梶原京子, 花野響子, 石田 瞭, 江草正彦, 緒方克也; 地域の知的障害者施設における口腔疾患調査. 第24回日本障害者歯科学会. 平成19年11月25日, 長崎県長崎市.
9. 森 貴幸, 有岡享子, 森田幸介, 石原牧子, 北 ふみ, 梶原京子, 花野響子, 石田 瞭, 江草正彦, 緒方克也; 障害者歯科における疾患管理に関する研究. 第24回日本障害者歯科学会. 平成19年11月25日, 長崎県長崎市.
10. 森 貴幸, 江草正彦; 大学病院障害者歯科患者の初診時現在歯数について. 第66回日本公衆衛生学会. 平成19年10月25日, 愛媛県松山市.
11. 森 貴幸, 有岡享子, 森田幸介, 石原牧子, 北 ふみ, 梶原京子, 花野響子, 石田 瞭, 江草正彦; 岡山大学特殊歯科総合治療部における20年間の障害者歯科医

療の実態. 第28回岡山歯学会, 平成19年8月19日, 岡山県岡山市.

12. 江草正彦, 武田則昭, 森 貴幸, 石田 瞭, 北 ふみ, 有岡享子, 森田幸介, 梶原京子, 宮脇卓也, 前田 茂, 吉富建志, 石原牧子, 吉原久美子: 知的障害者の口腔乾燥と齲蝕罹患経験との関連および対策について. 第23回日本障害者歯科学会. 平成18年10月20日, 宮城県仙台市.
13. 北 ふみ, 森 貴幸, 森田幸介, 有岡享子, 梶原京子, 石田 瞭, 吉原久美子, 石原牧子, 江草正彦: 障害者歯科治療保健の実態に関する調査—身体障害のある施設入所者を対象とした検討—. 第23回日本障害者歯科学会, 平成18年10月20日, 宮城県仙台市.
14. 森 貴幸, 武田則昭, 有岡享子, 森田幸介, 石原牧子, 吉原久美子, 北 ふみ, 梶原京子, 石田 瞭, 江草正彦: 某中核市に立地する大学病院における約20年間の障害者歯科治療の実態について. 平成18年10月20日, 宮城県仙台市.
15. MORI Takayuki, TAKEDA Noriaki, MORITA Kosuke, ARIOKA Kyoko, ISHIDA Ryo, KAJIWARA Kyoko, KITA Fumi, EGUSA Masahiko: Clinical Study on the longevity of dental restorations in Patients with Disabilities. 第18回国際障害者歯科学会, 2006年8月25, 26日, スウェーデン, イェーテボリ市.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

森 貴幸 (MORI TAKAYUKI)

岡山大学・医学部・歯学部附属病院・助教
研究者番号: 90274000

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

武田 則昭 (TAKEDA NORIAKI)

川崎医療福祉大学・医療福祉学部・教授
研究者番号: 40274279

江草 正彦 (EGUSA MASAHIKO)

岡山大学・医学部・歯学部附属病院・准教授
研究者番号: 90243485

石田 瞭 (ISHIDA RYO)

岡山大学・医学部・歯学部附属病院・講師
研究者番号: 00327933